

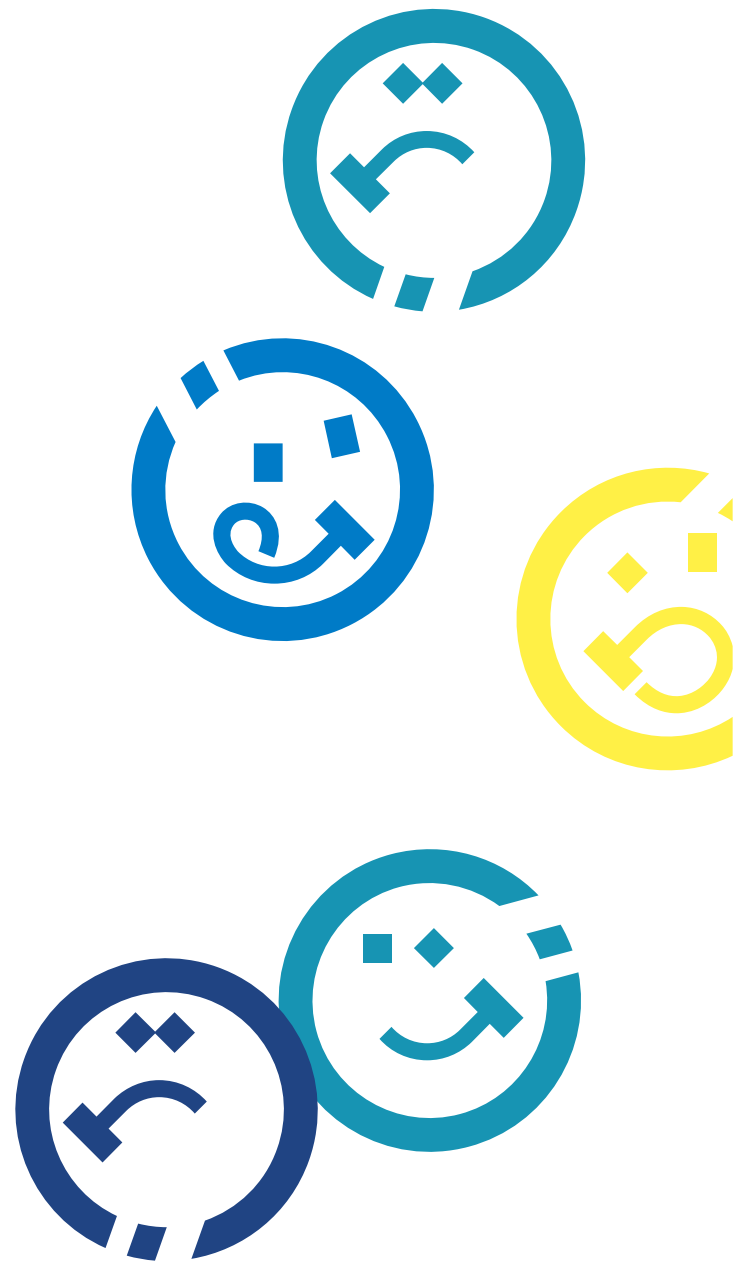
【中学校-技術・家庭科 (家庭分野)①】

人生に必要なになる「お金」を知ろう ～計画的な金銭管理～ (スライド構成例)

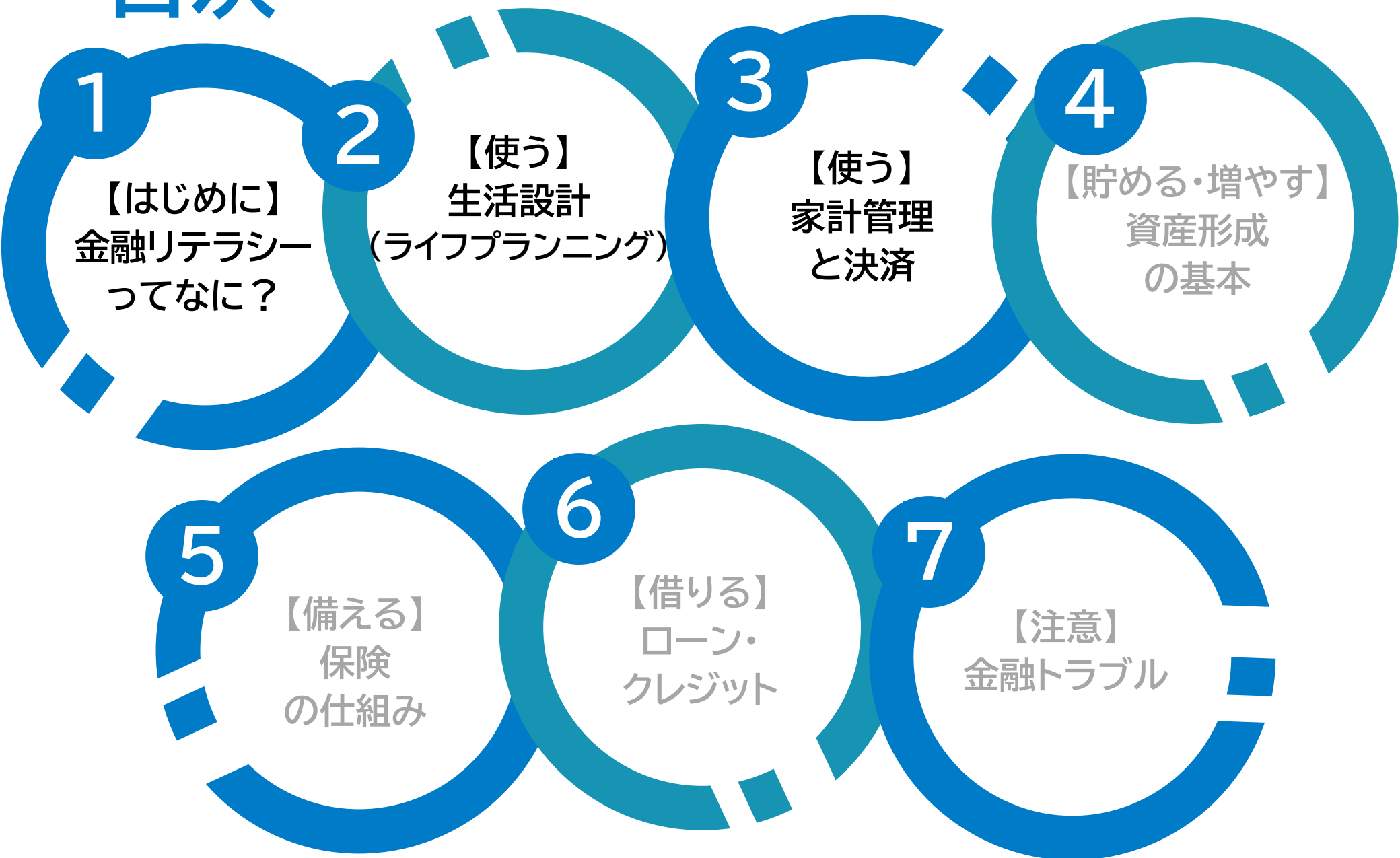
<講師のみなさまへ>

◆本資料は、「J-FLEC『標準講義資料』による授業実践のための学習指導案」をもとに作成したスライド構成例です(全3回の連続講義の実施を想定しています)。

◆実際の講義資料を作成される際は、「J-FLECのご紹介」スライドを必ず追加し、ご説明を行ってください(連続講義を実施される場合、全体を通じて1回ご説明ください)。

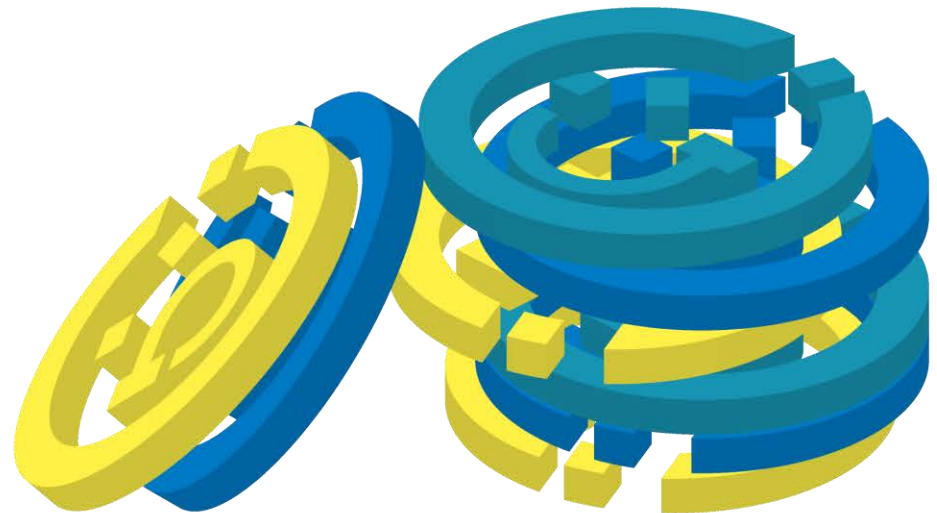
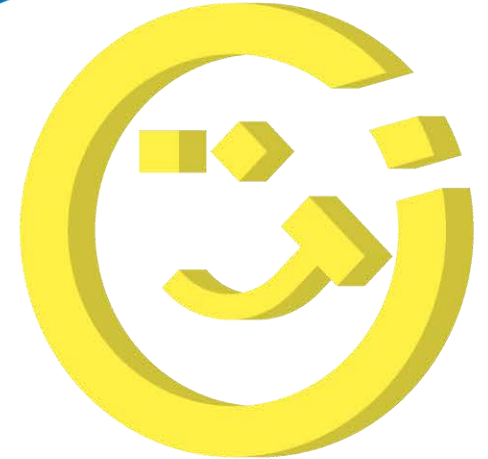


目次



1【はじめに】

金融リテラシーってなに？



○ 当てはまるものはありますか？



一人暮らし
がしたい



海外留学
がしたい



大きな家
に住みたい



起業して
社長になりたい



やりたい仕事
がある



あなたは、どんな人生を送りたいですか？

- 金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な『**お金に関する知識や判断力**』のことです。
- 金融リテラシーを身につけることは安心した生活に繋がります。

金融リテラシーが高いと…

- 将来のために計画的にお金を準備することができる。
- 詐欺などの金融トラブルにあうことが少ない。
- **お金の管理がしっかりしているので、経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる。**



○ 18歳(成年)になると、未成年のときと何が変わるでしょうか。

18歳になったらできること

保護者の同意がなくても契約可能

- 携帯電話を契約する
- 一人暮らしの部屋を借りる
- クレジットカードをつくる
- ローンを組む



以下の行為は20歳から！

- 飲酒や喫煙
- 競馬、競輪などの投票券を買う



重要!

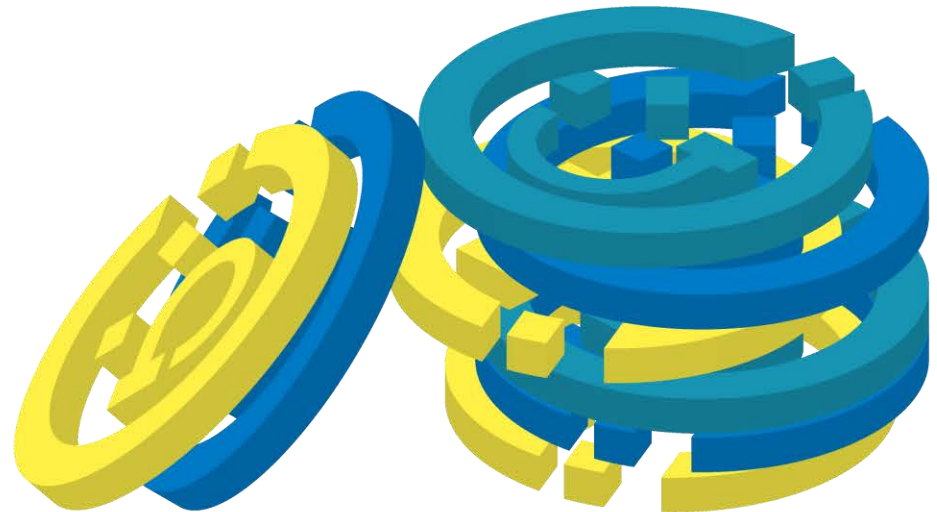
18歳(成年)からは、未成年を理由とする契約の取消しはできない(未成年者取消権は使えない)。

悪質商法や詐欺のような契約には注意。

正しい金融リテラシーを身につけることが重要です！

②【使う】

生活設計
(ライフプランニング)



○「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを『生活設計(ライフプランニング)』といいます。



一人で世界中を
旅行してみたい



好きなことを
たくさん楽しみたい



こんな家で
暮らしていきたい

それぞれにかかる「お金」はいくらでしょうか。予想してみましょう。

(1)海外旅行(ハワイ)

円

(2)老後

円

(3)自分の人生イベント①【 】

例: 子育て 家を買う 会社をつくる 留学する など

円

(4)自分の人生イベント②【 】

例: 子育て 家を買う 会社をつくる 留学する など

円

○ 皆さんがやってみたいライフプランの多くは、お金がかかります。『実現のためには収入を得ることが必要』です。



例えば、海外旅行でハワイに行くと1人あたり20～40万円くらい、家を買うと3,000～5,000万円くらいかかります。

思い描く人生にするために必要となる「お金」をどのように得ますか。

- 収入を得るためには、『働いて賃金をもらうこと』が一般的です。
- 大人は、『人の役に立つこと』や『人が喜ぶこと』をしてお金をもらっています。

例えば・・・



医者は病気の人を治して、お金をもらっています

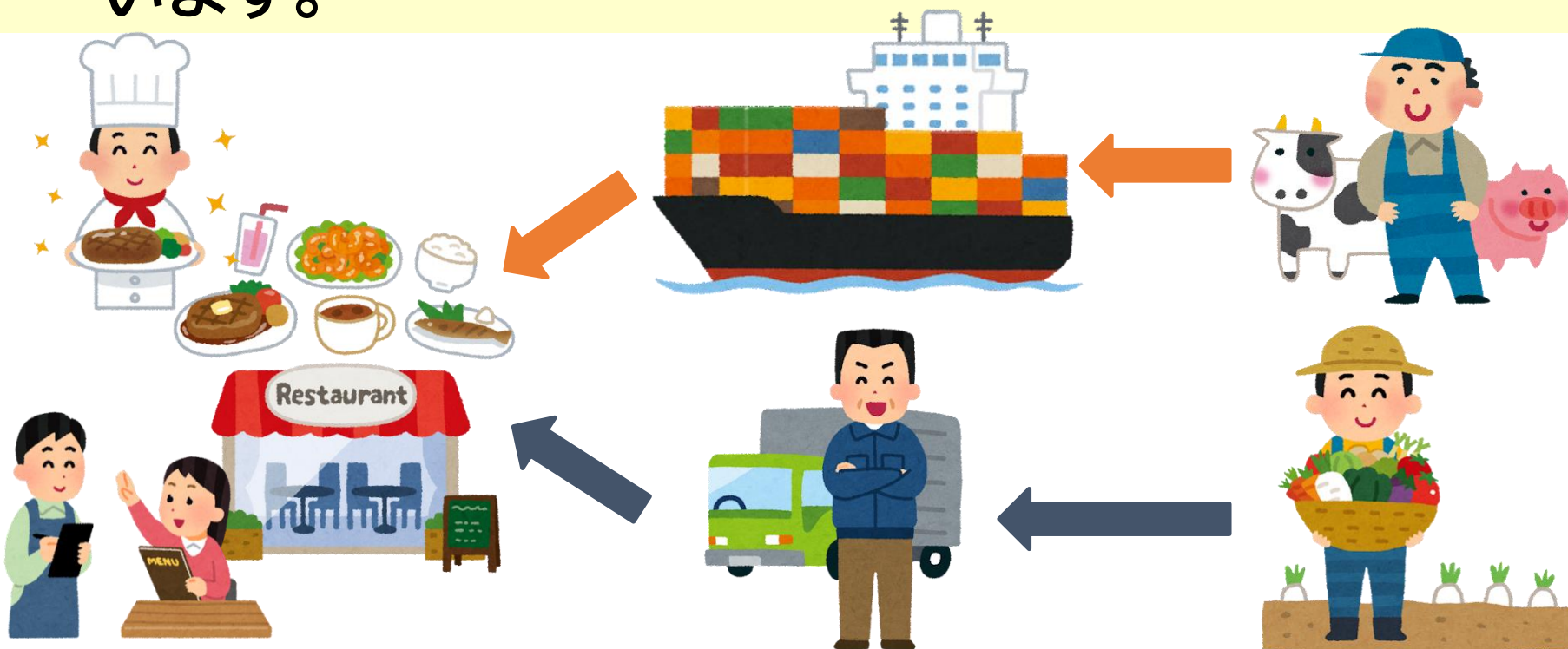


プログラマーは様々なシステムやアプリケーションを開発して、お金をもらっています



学校の教師は皆さんに勉強を教えて、お金をもらっています

○ 社会は、多くの人たちが働いて協力することで成り立っています。



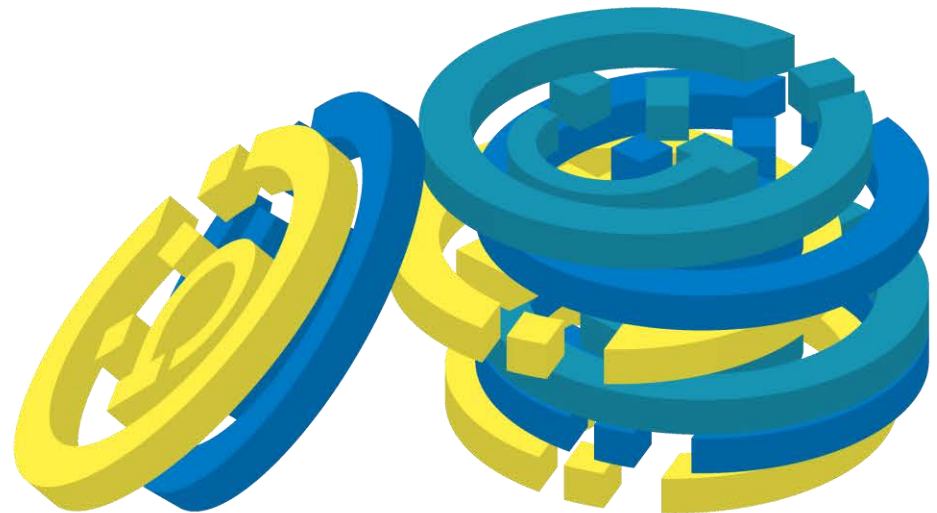
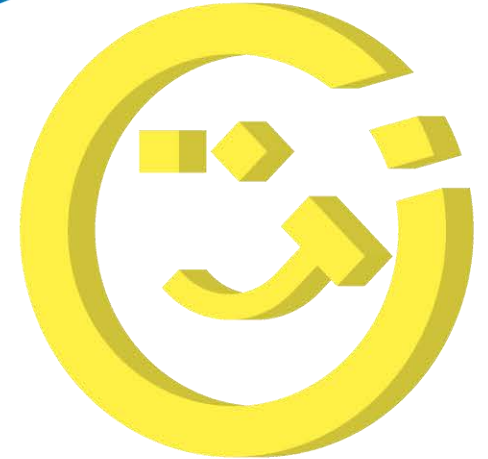
例えば皆さんがレストランで食事をした場合、店員の他に、野菜や肉の生産者、食材をトラックや船で運ぶ運送業者等、
いろいろな人が関わっています。

○ 皆さんが店舗でお金を支払うと、そのお金は店員の給料や、その商品を作るための材料など、様々な所へ巡っていきます。



③【使う】

家計管理と決済



日常生活では、どのようなことにお金を使いますか。たくさん挙げてみましょう。

家計の例

社会人の場合

収入

給与
賞与(ボーナス)

皆さんの生活には
実はさまざまな
お金がかかっています。

支出

食費	飲食などに必要なお金
住居費	家賃など
水道光熱費	電気・水道・ガスの料金
通信費	電話やインターネットの料金
交通費	移動するのに必要なお金
被服費	洋服代など
教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金
ローン返済	クレジットやローン・奨学金の返済
その他	冠婚葬祭費や医療費など



+

貯蓄

使わずに貯めておくお金

次の費用を「生活するうえで必要だ」と思う順に番号を書き入れてみましょう。

費用		必要だと思う順位
①食費	飲食などに必要なお金	
②住居費	家賃など	
③水道光熱費	電気・水道・ガスの料金	
④通信費	電話やインターネットの料金	
⑤交通費	移動するのに必要なお金	
⑥被服費	洋服代など	
⑦教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金	
⑧ローン返済	クレジットカードやローン・奨学金の返済	
⑨そのほか	冠婚葬祭費や医療費など	

○ お金の使い方を考える時は『優先順位』をつけましょう。

1. ニーズとウォンツを区別する。

- ー必要なもの・こと(Needs:ニーズ)
- ー欲しいもの・やりたいこと(Wants:ウォンツ)



2. お金を使うときには「ニーズ(必要なもの)」を優先しましょう。

3. ウォンツの中でも優先順位をつけてお金を使いましょう。

- 普段生活をするうえで、収入と支出のバランスを管理することを『家計管理』といいます。
- 『支出は収入の範囲内に収める』ことが重要です。

中学生の場合

収入

おこづかい
お年玉



支出

文房具 お菓子 洋服
友人との遊び ゲーム等



授業から分かったこと、実践したいこと

